

仏教の未来に
挑戦する情報誌!!

刀-スタイルな 僧侶たちの刀-マガジン

「この時代の
ものとなれ仏教」

フリースタイルな僧侶たち
発足5周年に寄せて

30

マンガ「お坊さん日和。」 第9話 仏さまってなんだろう？

しりとり法話バトル 第3回「受け止める」

8・9月の仏教イベント情報

いけぐち

そうりょ

せいへく：おとこ

レベリ： 5

HP： 55

MP： 55

ふせ（こころのひろさ）： 49

じかい（きりつただしさ）： 25

にんにく（かやまんづよさ）： 18

しょうじん（きあい）： 53

せんじょう（おちつき）： 37

ちえ（かしこさ）： 48

これまでつんたゞどゞ： 1826

つきめレベリまであと： 365

「この時代のものとなれ仏教」「まだ早い」



特集 フリ 発足

特集

フリースタイルな僧侶たち 発足5周年に寄せて

文：池口龍法
text: Ryuho Ikeguchi

30

ちょうど5年前、この「フリースタイルな僧侶たち」という団体を立ち上げて、フリーイーパーাーを片手に京都の街中に袈裟姿のまま繰り出したんですね。活動開始早々から「お坊さん×フリーイーパーাー」という奇抜な組み合わせがクローズアップされ、各種メディアの取材を受けて面白食らいました。「仏教ブーム」という状況なんて知らずに、自分のやりたいことをやつたら、幸か不幸か話題をさらってしまって。

別にウケを狙つたわけじゃなかつたんです。お寺で生まれ育つた私のなかには、DNAとし



るめかしいけれど日本人らしい感覚をもつたまま現代でどこまでやれるか。それを試してみたかつただけでした。もしかしたら、同じ空気を吸つて育つた同世代の人たちと、仏教というものがスペースになつてすごいことができるかもしれない。でも、まったく通用しないかもしれない。諸行無常ですから、仏教だつて宇宙だつていつか滅びるでしょう。仮に仏教がその役割を終えるのが現代日本だつたとしても、それが避けられない状況なら一向にかまいません。しかし、なんらかチャンスがあるなら精一杯のチャレンジだけはしよう。そうすることが、今まで伝統文化のなかで育ってきたもられたた一人の人間の果たすべき責務だろうと。

そういう考え方を伝えようと思つてまず名刺代わりに作ったのが、フリー・ペーパーでした。発行当初はせいぜい1年ぐらい続けばいいなど語つていたんです。周囲からもどうせ続かないよと言われました。有志で発行しているフリー・ペーパーで5年続くのつて珍しいと思います。支えてくださった皆様には感謝の気持ちしかありません。

自由なことをチャレンジできる場ができるつあるのなら、そこは大的にしたいですね。お釈迦さま自体が、地位も名譽も保証されていたのに、そこに馴染むことができなくて、自分の道を探したわけです。優等生的な人生のレールっぽいところから、いい人材が育つてくるとはかぎらないでしよう。一度、財産を使い果たしたり道を踏み外した

りしても、なんとか創意工夫してたたきあげていく余地を残しておるのが、慈悲のある仏教的な社会だと思っています。若手僧侶の世界でもそうあってほしいと願つて、「フリースタイル」とあえて大胆に掲げてやつてきましたですね。

うせ取りに来ないという雰囲気がありましたから、お寺にはあまりお願いに行きませんでした。お願いに行っても奇抜な取り組みだと煙たがられることもありました。

でも、そういう試みを続けてきたあげくに、私がこの春に出版した本のタイトルが奇しくも『お寺に行こう！』です。これには私自身、驚きました。「街へ出よう！」と「お寺に行こう！」はベクトルが正反対なんですね。

世間のニーズに現代の多くの僧侶が応えようと努めてきた結果だと胸を張つていいと思います。

フリー／ペーパーの設置に関しては、「若い世代へのイントロダクションにちょうどいい」と協力してくれるお寺がずいぶん増えました。

様々な試みが活発に起ころて

つたりサイトを訪れたりした人が、自分のファーリングに合ったイベントを選んでトライし、仏教に深く触れるきっかけを手にしてもらえると嬉しいですね。各地のユニークな仏教イベントの情報提供もどんどんお待ちしています。

なぜ私はこのようなストイックな作業を続けるのか。それは、唯識思想を体系づけた無著（むちやく）の『攝大乘論（しじょうだいじゆりん）』を読むと、法界等流（ほつかいとうりゅう）の教えに触ることが、仏教への深いじょうろん』を読むと、

かな世界から流れ出てくる教えと出合わなければ心のモードは変わらないのです。

くる土壤を守ることは、ぜひ続けたいです。いままでは誌面ベースの都合から、イベント情報も関西と関東のものを中心に扱つてきましたが、今号からは全国版のほか、四国地方の情報に特化したローカルバージョンを作り、地域に密着した誌面作りに着手しました。また、誌面に限らずウェブサイトでもどんどん取材したり情報を配信したりしていきます。誌面を手に取つたりサイトを訪れたりした人が、自分のフィーリングに合つたイベントを選んでトライし、仏教に深く触れるきっかけを手にしてもらえると嬉しいですね。

各地のユニークな佛教イベントの情報提供もどんどんお待ちしています。

なぜ私はこのようなストイックな作業を続けるのか。それは、唯識思想を体系づけた無著（むちやく）の『撰大乘論（しようだいじょうろん）』を読むと、法界等流（ほつかいとうる）の教えに触れることが、仏教へのイントロダクションだと書かれているからです。ブッダの清らかな世界から流れ出てくる教えと出合わなければ心のモードは変わらないのです。



定期的に行われるフリースタイルな僧侶たちのミーティング風景。フリーペーパーの編集や、様々な仏教イベントの企画などで、日付が変わることもしばしば。

行いの結果は、心の奥深くにあるアーラヤ識（注①）のなかに種子として蓄積されています。そしてアーラヤ識から未来の意識が形成されています。では、意識の悪しき流れを断ち切つて、私たちの生き方を良い流れに変えていくにはどうすればいいか。それは、正しい仏教の情報を増やしていくことが何よりも手がかりになってくる——私は無著にならってそう考えています。

仏教ブームの その先へ

日本では仏教といえばお葬式という構図が定着しています。お葬式を行うことが悪いわけではないですが、それはある日突然おとずれる人間の死が前提になってしまいます。つまり非日常における仏教です。このタイプの仏教に日々親しむことはできません。では、平時の仏教とはなにかということを考えると、日々の所作に心を込めて行い、心をきつちりとトレーニングしていくことです。お釈迦さま以来、仏徒は心のトレーニングをしてきました。仏教の多くは

私たちの支えになってしまいます。古くからの慣習どおり、仏壇に毎朝手を合わせることが心を顧みることにつながるなら、それもいでしようが、そういう環境にいる人は今日少ないのが実情です。だからといって仏教にアクセスできないわけではありません。アメリカでは、寝室のあかりなん。アメリカでは、寝室のあかりをつけて仏教書を読みひとり瞑想にふけるという「ナイトスタンド・ブデイスト」が増えてきているといいます。これもひとつのスタイルでしょう。

「仏教ブーム」と呼ばれるようなふわっとした危うい空気感があり、お寺での坐禅会や念佛会を行ふと意外なほどに多くの若い人々がやってきます。しかし、彼らは心のトレーニングよりも、不安やストレスを癒すような現世利益的な仏教体験を求めがちです。

リアリティを感じられる仏教が求められていることは良い流れだと思いますが、問題なのは、参加者がどのような仏教体験を味わうかです。参加者が「ああ気持ちよかつた」という程度のデトックス体験を味わうだけなら、別に仏教でなくてもかまいません。私も淨土宗の伝統にのつとつて木魚を打ちながら、「南

「経験値稼ぎ」が必要

書いてあります。六波羅蜜とは、布施（仏法や財物をシェアすること）、持戒（仏教的規範に基づいて生活すること）、忍辱（にんにく・つらいことも堪え忍ぶこと）、精進（修行に精を出すこと）、禪定（心を静かに落ち着けること）、智慧（仏教を正しく知ること）です。これを日々行うことで経験値が貯まつてきます。そして、経験値が一定まで貯まると、レベルアップすると書かれています。こういう世界は今日の日本ではあまり知られていませんが、大乗仏教の基本的な仕組みとして存在します。これをファンタジーと笑う人もいるでしょう。確かに、レベル20や30になつたときの境地にいるでしよう。

表紙の写真では、私は「僧侶レベル5」という設定になつてあります。これはもちろん悪ふざけではあります。しかし、実は仏教は、ロールプレイингゲームにおける経験値稼ぎとレベルアップみたいな要素をビルトイinzしています。

語を重ねて「仏教とはなにか」という規範感覚を身につけていかなければなりません。規範な生きフリースタイルは単なるカオスですし、もし宗派意識を消して交わるなら、これはもう超宗派ではなく単なる無宗派、無宗教です。

六波羅蜜というのを実践せよと書いてあります。六波羅蜜とは、布施（仏法や財物をシェアすること）、持戒（仏教的規範に基づいて生活すること）、忍辱（にんにく・つらいこととも堪え忍ぶこと）、精進（修行に精を出すこと）、禪定（心を静かに落ち着けること）、智慧（仏教を正しく知ること）です。これを日々行うことで経験値が貯まつてしまい。そして、金命真言一

「経験値稼ぎ」が必要

心のレベルアップには、表紙の写真では、私は「僧侶レベル5」という設定になつてあります。これはもちろん悪ふざけではあります。しかし、実は仏教は、ロールプレイングゲームにおける経験値稼ぎとレベルアップみたいな要素をビルトイシしてしています。

では、経験値をコツコツ稼ぐには、どうするか。それには、

ついで經典には細かく記されてますが、わずかレベル5の私には雲をつかむようではわかりません。でも、これまで少しづつ感がって、「經典に書いてある通りだ」と納得するところがあるから、仏教はこれからもたぶん正しい道を教えてくれるようと思えてくるんです。神仏をただ信じましょうというだけが佛教へのアプローチではないのです。

5周年記念企画 フリースタイルな僧侶たち オリジナル手ぬぐいプレゼント!!



本誌の5周年を記念して、もれなくオリジナル手ぬぐいをプレゼントいたします。イラストは本誌「お坊さん日和。」でおなじみの光澤裕顕。ゲットして、より仏教を身近に感じよう!

サイズ(墨宝)・34cm×90cm

プレゼント応募方法

応募券、120円切手及び以下のアンケート項目すべてに対する回答を同封のうえ、下記宛先まで郵送してください。

- 郵便番号、住所（手ぬぐい発送先）、氏名、年齢、
ご職業（お坊さんの場合、宗派も教えてください）
 - 現代の日本において、お坊さんと一般人に違いがあると思いますか？（はい、いいえ及びその理由も含めてお答えください）
 - これからフリースタイルな僧侶たちに期待すること

※いただいた個人情報は厳重に管理し、プレゼント発送と統計調査のための範囲内で使用いたします。

※お一人様の応募は1回限りとさせていただきます。

※申込締切は平成26年9月30日です（当日消印有効）。

※もしも、いつの発送時期が11月頃を予定しています

に経験値稼ぎに徹すると体験自然に伴ってきます。体験をめすぎるのはなく、知識にされるのでもなく、すべての心領域をバランスよく整えて、

教の物語を一人でも多くの人と歩んでいきたいと思います。

2500年の人類の歴史の流れに連なり、さらに2500年間が開かせていくべきです。六波羅蜜を日々のよりどころとし、壮大な人生の旅へ進むことは危ういです。仏教では、それで仏教をわかつた気にちよつと坐禅や念佛をかじつていいべきです。六波羅蜜を日々のよりどころとし、壮大な人生の旅へ進むことは危ういです。仏教では、

やく「仏教プラクティス」が
まつて、各宗派の実践を体験
合うという試みに着手できた
とでしようか。今年になつて
らは「俱舎論」を8年間かけて
組みこそ、2500年の伝統を
持つ仏教の魅力だと思います。
私たちの人生はあつという間
に過ぎていきます。かぎられた
時間を散漫に過ごすよりも、
典をもとに知的に論争ができる

「心の領域を整え、生き方の根拠を

お坊さん 日和。



真っ先に迷う人、阿純章

<「迷子」のすすめ>

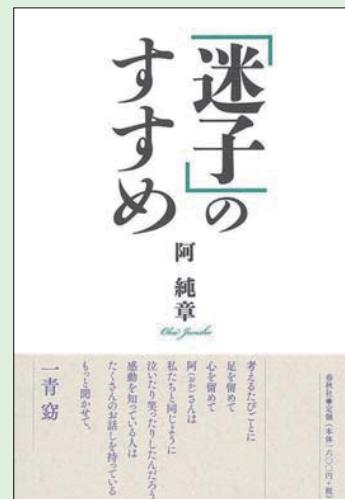
悩まない、迷わない。それがお坊さんだというイメージが、世間にはある。世のお坊さんたちはそこはかとなくブレッシャーを感じているかもしれない。

そんな中、自ら「井戸の中にいる」「迷子」であると力ミングアウト(?)したのが天台宗圓融寺の阿(おか)住職。

「『迷子』のすすめ」と題した本書は、よくある、仏の教えを例にして問題を解決に導こうとするものではなく、エッセイだ。とはいえただのエッセイではない。自

い空へと顔を向けさせてくれる。迷うことなく真っ先に迷う人の気持ちになつて接してゆく、つまり、「寄り添う」ということ

言葉だからこそ、いつも近くに置いておきたくなるのだ。



『「迷子」のすすめ』
阿純章／春秋社／1728円

しりとり 法話バトル

第3回

受け止め る

私が幼い頃、野球好きな父はよくキヤッチボールをしてくれました。最初は、小さな私がちやんと取れるスピードから。そ

して、少しづつボールは速くなつて、いつの間にか、同じスピードでキヤッチボールができるようになつていきました。

受け止め合い、寄り添い合つて

いるのです。

そういうえば、お寺の近くで、大きな向日葵が咲いていました。陽の光をめいいっぱい受け止めて。

◎次回のお題は「ルール」という期待！

●しりとり法話バトルとは

ウテに覚えのある僧侶たちが、毎月しりとり形式で出されるお題にのつとつて法話を作り、きびしい審査によって掲載非掲載のふるいにかけられる、フリースタ史上まれにみるサバイバルな企画。ウェブでは、残念ながら掲載に至らなかつた法話と、審査員の評価ができるので要チェックを！

「あなたがいて、私がいる。」

そんな無数の縁の中で、私達は

文・薬師寺寛邦

臨済宗海禪寺副住職
ボーカルユニット「ギッサコ」

【 仏 教 体 感 】

9 / 9

働く人のための坐禅会

東京

仕事帰りに疲れたこころと頭の整理をしませんか？
お一人でも気軽にご参加ください

日時：9月9日（火）20:00～21:30（60分の坐禅と20分のお茶会）会場：仏教伝道センタービル7F「縁」の間
講師：阿純章（おか・じゅんしょう）師／天台宗
参加費：500円 定員：30名／男女不問
申込み：事前のお申し込みが必要です。詳しくは仏教伝道協会ウェブサイト、Facebookをご覧ください

9 / 25

仏教聖典を初步英語で学ぶ会

東京

1回のみの参加でもOK！
簡単な英語を交えながら日本の仏教精神を学ぼう

日時：9月25日（木）18:30～20:00 会場：仏教伝道センター ビル8F「和」の間 講師：ケネス・タナカ 師／浄土真宗テキスト：『BDK TV 説法DVD』（随時、配布します）
対象者：英語初心者（中級・上級英語習得者および外国の方も大歓迎） 参加費：500円 定員：40名
申込み：事前のお申し込みが必要です。詳しくは仏教伝道協会ウェブサイト、Facebookをご覧ください

9 / 24

ちょっと坐ろう会【朝禪・夜禪】

東京

歴史ある釈迦堂の中で
穏やかな時間を過ごしませんか？

日時：9月24日（水）【朝禪】8:00～、【夜禪】20:00～
※所要時間は約1時間です。どちらか良い方をお選びください

会場：圓融寺 釈迦堂（重要文化財）
東京都目黒区碑文谷1-22-22
※JR目黒駅（西口）東急バス（3番）大岡山小学校行（01系統）
乗車15分「碑文谷二丁目」下車 徒歩3分
東京メトロ「西小山駅」徒歩15分

参加費：無料
定員：40名
※服装は自由ですが、あぐらのような格好をするので、あまり締めつけない服装でお越しください

申し込みは圓融寺ウェブサイト（行事案内）、
または電話にて受付中
TEL：03-3712-2098（平日9:00～17:00）

9 / 3

平成26年度 第2回シンポジウム 私と仏教

—なぜ「必要」なのか？—

東京

今年度2回目は、様々なメディアでご活躍されている評論家の宮崎哲弥さんをお招きします。「なぜ『必要』なのか」という副題で、自らの経験の中で出遇った仏の教えについてお話いただきます。



日時：9月3日（水）18:00～19:40
会場：仏教伝道センタービル8F「和」の間

講師：宮崎哲弥

参加費：500円

*参加費は、「いわての学び希望基金」へ寄付

定員：120名（先着順／8月20日（水）必着）

申込み：事前のお申し込みが必要です。詳しくは仏教伝道協会ウェブサイト、Facebookをご覧ください

【主催】

公益財団法人

仏教伝道協会

BUKKYO DENDO KYOKAI

東京都港区芝4-3-14 <http://www.bdk.or.jp>

Tel: 03-3455-5877 E-mail: bdk@bdk.or.jp

Fax: 03-3798-2758

▶ 公益財団法人仏教伝道協会

URL www.facebook.com/bukkyodendokyokai

9 / 18

ごほうび坐禅会

東京

お寺という非日常の空間で
ココロとカラダに、ごほうびを。

「ごほうび坐禅会」はやわらかな雰囲気で行います。まずは坐ってみて、それからいろいろなことに慣れていきましょう。坐禅をがんばったあなたに甘いごほうび（スイーツ）も用意しています。

日時：9月18日（金）19:30～21:30

会場：陽岳寺

東京都江東区深川2-16-27

※東京メトロ 門前仲町駅 下車徒歩3分

会費：500円

服装：足を組むので、ゆったりとした服装で。着替える場所もあります（スカート可）

申込み：事前申し込みの必要はありません。当日直接お越しください。FaceBookをされている方は、人数把握のため「9月19日（金）19:30～ごほうび坐禅会」のイベントページにて「参加予定」ボタンにご協力をお願いします。

お問い合わせ：ようがくじ「不二の会（ぶにの会）」

<http://www.puninokai.com>

E-mail: info@puninokai.com

8 / 3

第六回 西正寺寄席 ～落語と仏教～

兵庫

兵庫県尼崎市にある浄土真宗のお寺、清光山西正寺では毎回テーマを掲げて落語会を開催しています。今回は、せっかくお寺で落語を聞くのだから…ということで仏教特集。じつは落語には仏教に関することがたくさん登場します。お坊さん、お寺、念佛、地獄、極楽…。「仏教」を意識して落語を聞いて、あらたな発見をしてみませんか？

出演は桂華紋、桂三歩、そして弊誌でもおなじみ、天台宗僧侶でもある落語家・露の団姫です。

日時：8月3日（日）15:00 開演
 会場：浄土真宗本願寺派 清光山西正寺
 兵庫県尼崎市上坂部3-36-8
 *JR塚口駅 下車 東南へ徒歩7分
 TEL: 06-6491-2110
 出演者：桂華紋 露の団姫 桂三歩
 入場料：大人500円 高校生以下200円
 定員：100名 全席自由（イス席）
 申込み：事前予約はネットのみで受付。当日券あり。
 【西正寺ウェブサイト】<http://seikouzan.blogspot.jp/>
 【こくちーず】<http://kokuchese.com/event/index/186277/>
 主催：西正寺寄席実行委員会
 共催：露の団姫事務所、西正寺
 協力：あまがさきチャレンジまちづくり事業
 後援：尼崎市教育委員会

9 / 1

さばのゆ大学 presents お坊さんと缶詰ナイト♪

大阪

フリースタイルな僧侶たちのスピノフ企画として、イベントスペース「さばのゆ温泉」での究極のゆる飲みイベントを開催します。缶詰をおツマミにお坊さん数名とゆるゆる飲みながら、大人のしゃべり場＆楽しい時間を。仏教に興味がある方も。ただボー（坊）っと飲み語りたい方も（ソフトドリンクもあります）。

誰でも、どんな煩惱を持っていても参加いただけます！お仕事帰り、途中からでも大歓迎♪ ふらりとお立ち寄りください。

日時：9月1日（月）19:00～21:00 予定（18:30開場）
 会場：さばのゆ温泉
 大阪市福島区福島2-9-10 2F
 ◎1Fはカレー屋さんです
 *JR新福島駅 下車徒歩3分
 阪神電車福島駅 下車徒歩5分
 大阪環状線福島駅 下車徒歩8分
 参加費：1,000円（1ドリンクオーダーをお願いします）
 申込み：<http://sabadai.com/>

9 / 20

アラサー僧侶とゆるーく話す会

京都

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいこと等、何でも結構です。もちろん、単純にお坊さんと話がしてみたいという方や、気になってることをお坊さんに質問してみたい方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。

お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか？ どなたでもご参加いただけます。どうぞ気軽にお立ち寄りください。

日時：9月20日（土）14:00～16:30

会場：四条京町家1F

京都市下京区郭巨山町11（四条通西洞院東入ル）

075-255-0801

*阪急京都線烏丸駅・京都市営地下鉄四条駅 下車

阪急西へ徒歩5分、四条通の北側

主催：フリースタイルな僧侶たち

会費：1,000円（フリストア会員は800円）

定員：10名

申込み：<http://www.freemonk.net/events>



9 / 13

『俱舍論』を8年間かけて読む会

京都

仏教の基礎を学んでいくプロセスを、「桃栗三年柿八年」ということわざをもじって「唯識三年俱舍（くしゃ）八年」という言葉で呼ぶことがあります。

「俱舍」とは、インドの学僧世親が遺した著書『阿毘達磨俱舍論（あひだつまくしゃろん）』であり、その中にはこの世の成り立ちや私たちの心のあり方について細かく分析的に述べられています。「仏教辞典」として、初心者も専門家も常に机上に置いておきたい一冊です。

2年間にわたり「経典をナナメから読む会」を実施し、多くの経典を楽しく味わってきましたが、本年からは、「俱舍」をひもといて一つひとつの仏教語の奥行きをゆるやかに味わっていきます。どうぞ気軽におつきあいください。

日時：【第7回】9月13日（土）19:00～21:00

*本会は毎月1回開催していますが、8月は休講します

会場：龍岸寺

京都市下京区塩小路通黒門西入八条坊門町564

*JR京都駅 下車徒歩10分

会費：1,500円（フリストア会員は1,300円）

*うち1,000円は震災復興支援のため寄付いたします

定員：20名

申込み：<http://www.freemonk.net/events>

編集後記

ありがとう5年間。街の中を袈裟姿で歩くことなんていまや抵抗ない。でも、魔法の杖を持ったのは初めて。気分は一気にコスプレモード。道行く人があきらかに好奇の視線を注ぐ。表紙写真の撮影はかつてないほど恥ずかしかった。同時に、RPGの主人公さながらに、杖を振りかざしてみる馬鹿馬鹿しい楽しさも、初めて味わった。

どうでもいい初体験だが、こんな活動をしていなければ一生出会わない瞬間だった。何事もやってみなければわからない。魔法の杖を持つちゃいけないとは経典に書いてない。私たちが試行錯誤して失敗しながら切り開いていくしかない。

杖を振りかざしても、やはり魔法は発動しない。5年間

- の経験値の蓄積なんて所詮そんなもんだ。これでは雑魚敵の
- スライムさえ倒せないじゃないかと思いながら、ふと我に返る。仏教が現代日本のものとなるにはまだ時間がかかる。輪廻の旅路のなかで生まれ変わりながら、最強魔法ギガデインを覚えてラスボスの魔王を倒すその日まで、冒険の書は続いていく。
- 読者のみなさんも、ぜひ一緒に仏教の旅を歩みませんか。
- 今後ともどうぞよろしくお願いします。

フリースタイルな僧侶たち代表 池口龍法



フリースタイルな僧侶たちとは

「仏教＝葬式」だとあなたは思っていませんか？

しかし、経典をひもといてみても、お葬式について語られていることはほとんどありません。そこには、「なぜ私たちの苦しみは起こるのか」「正しい知見を得るにはどうすればいいのか」といった「生きていくための教え」が多く説かれています。

人の心を狂わせる怖いものとして宗教が遠ざけられ、お葬式や法事は簡略化される傾向にある今日ですが、自分の弱い心にふたをして、やがてはおとずれる死から目を背けても、充実した人生はありません。仏教の持つポテンシャルをうまく引き出し、自分自身に向き合うことによってこそ、これから社会が確かに形づくられてくると私たちは信じています。

「フリースタイル」という言葉をかけたのは、仏教の持つ二千五百年の伝統を敬いつつも、ゼロベースで日本仏教の未来を模索しようとしていることです。

本誌フリーマガジンの発行(年間6回・偶数月1日発行)もまた、その試みのひとつです。街中のカフェやバーなどで手に取った瞬間に、安らぎや気づきがあることを願って発行しています。配布にご協力いただける店舗・施設を随時募集しています。

私たちは、30歳前後の若い僧侶たちが中心になって活動しているため、「仏教の再生」のつもりが、「伝統からの逸脱」につながることもあるかもしれません。その際には、みなさまのご指摘を

お待ちし、誤りについては改めながら大胆な試みを続けていくつもりです。これから時代を生きやすいものにするため、ご協力をよろしくお願ひいたします。

志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフもお待ちしています。まずは気軽にお問い合わせください。

サポーターズ・クラブ会員募集中！！

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中

協賛年会費 5千円(個人) / 3万円(法人)

◎サポーターズ・クラブのみなさまには、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。

◎法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先：三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943

フリースタイルな僧侶たち 代表 池口龍法

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください

《お問い合わせ先》

Tel : 075-555-5730 Fax : 075-777-9579

E-mail : info@freemonk.net

— どこよりも勉強する店 —

【各宗派法衣・袈裟・幕・記念品】

法衣・呉服のクリーニング承ります

西陣織元 丸西宗教織物 株式会社

京都市下京区堀川通り正面上ル(西本願寺前)

- 丸西 西本願寺前店 ☎ 0120-075-024
- 丸西 東京 築地本願寺前店 ☎ 0120-313-024
- クリーニング部 ☎ 0120-075-461

今のあなたに効くお寺、あります

『お寺に行こう！－坊主が選んだ「寺」の処方箋』

池口龍法／講談社／175ページ／1404円

弊誌代表・池口が自信を持っておススメする、旬なお寺の厳選ガイドブック。あなたの心にぴったりのお寺を見つけて、生きる力をもらってみませんか。

Amazonや全国書店で好評発売中！



協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいたみなさまに厚く御礼を申し上げます。
以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

あ 安心院(京都府八幡市／浄土宗)

安楽寺(京都府南丹市／浄土宗)

石尾山弘法寺(大阪府和泉市／真言宗)

円光寺(東京都台東区／臨済宗妙心寺派)

延命寺(大阪府堺市堺区／浄土宗)

圓融寺(東京都目黒区／天台宗)

か 宣雲寺(東京都江東区／臨済宗)

吉祥寺(山口県萩市／浄土宗)

九品寺(京都府京都市南区／浄土宗)

教安寺(福岡県福津市／浄土宗)

慶蔵院(三重県伊勢市／浄土宗)

光照院(東京都台東区／浄土宗)

光照寺(大阪府大阪市東淀川区／浄土真宗本願寺派)

光徳寺(福岡県みやま市／浄土真宗本願寺派)

光明院・田中医院(京都府京都市中京区／浄土宗西山禪林寺派)

光明寺(奈良県吉野郡／浄土真宗本願寺派)

五百羅漢寺(東京都目黒区)

金剛寺(京都府京都市東山区／浄土宗)

さ 西明寺(兵庫県尼崎市／浄土宗)

西楽寺(京都府京都市伏見区／浄土宗)

淨榮寺(滋賀県東近江市／浄土宗)

正覚寺(青森県青森市／浄土宗)

淨元寺(兵庫県尼崎市／浄土真宗本願寺派)

性高院(愛知県名古屋市千種区／浄土宗)

正善寺(兵庫県伊丹市／浄土宗)

正法寺(京都府京都市東山区／時宗)

勝樂寺(東京都町田市／浄土宗)

常樂寺(新潟県村上市／曹洞宗)

正蓮寺(静岡県伊豆の国市／真宗大谷派)

信覚寺(福岡県朝倉郡／浄土真宗本願寺派)

新善光寺(北海道札幌市中央区／浄土宗)

瑞聖寺(東京都港区)

崇福寺(滋賀県甲賀市／浄土宗)

善願寺(滋賀県甲賀市／浄土宗)

善道寺(北海道札幌市豊平区／浄土宗)

た 大圓寺(東京都目黒区／天台宗)

臺鏡寺(大阪府枚方市／浄土宗)

檀王法林寺(京都府京都市左京区／浄土宗)

潮音寺(東京都大島町／浄土宗)

超覚寺(広島県広島市中区／真宗大谷派)

長壽院(東京都台東区／浄土宗)

梅窓院(東京都港区／浄土宗)

藤之寺(兵庫県神戸市兵庫区／浄土宗)

法岸寺(静岡県静岡市清水区／浄土宗)

宝華山廣讚寺(岐阜県瑞穂市／浄土真宗東本願寺派)

宝皇寺(北海道函館市／真宗大谷派)

寶松院(東京都港区／浄土宗)

宝泉寺(愛知県津島市／浄土宗西山禪林寺派)

法善寺(大阪府大阪市中央区／浄土宗)

法然院(京都府京都市左京区)

寶滿寺(千葉県銚子市／浄土真宗本願寺派)

法華寺(京都府亀岡市／日蓮宗)

本覺寺(神奈川県横浜市鶴見区／天台宗)

ま 無量光寺(鳥取県鳥取市／浄土宗)

や 薬師院(大阪府岸和田市／真言宗)

陽岳寺(東京都江東区／臨済宗妙心寺派)

ら 龍岸寺(京都府京都市下京区／浄土宗)

綠泉寺(東京都台東区／浄土真宗東本願寺派)

一般社団法人 日本石材産業協会(東京都千代田区)

遠藤新兵衛商店(京都府京都市下京区)

学校法人 鎮西学園(熊本県熊本市中央区)

株式会社 アールアンドダブリュー(京都府京都市中京区)

株式会社 京美仏像(京都府京都市北区)

株式会社 薫寿堂(兵庫県神戸市)

株式会社 作島(京都府京都市下京区)

株式会社 寺の友社(京都府宇治市)

京都坊主BAR(京都府京都市中京区)

茶坊えにし(東京都台東区)

寺院コム(京都府京都市左京区)

浜屋株式会社(兵庫県姫路市)

ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所(京都府京都市中京区)

※ 協賛は随時受け付けています

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」
に広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店まで、さまざまな場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中!!(ウェブサイトで確認できます)
興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

媒体情報
仕様:A4サイズ／12頁／カラー
発行部数:11,000部
(2014年8月現在)

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1

祇園ギャラリー源右衛門

Tel:075-533-6088

京都府東山区祇園町南側55番地(祇園ホテル1F)

お念珠取り揃えております





Hamaya

浜屋は
関西最大級の
お仏壇・お仏具・
墓石の専門店です。

やすらぎの世界を創る



浜屋

お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
0120-1616-94
●受付時間／午前10時～午後6時30分まで

関西最大級の38店舗、安心のネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- 奈良王寺店/☎(0745)31-2211代 ■尼崎市役所前店/☎(06)6414-3900代
- 奈良生駒店/☎(0743)83-2211代 ■尼崎店/☎(06)6413-2211代
- 岸和田店/☎(072)445-2211代 ■宝塚店/☎(0797)83-4500代
- 堺鳳店/☎(072)261-2211代 ■西宮店/☎(0798)51-2211代
- 藤井寺店/☎(072)954-2211代 ■西宮駅前店/☎(0798)34-2280代
- 駒川店/☎(06)6709-2211代 ■芦屋店/☎(0797)35-1194代
- 八尾久宝寺店/☎(072)925-2200代 ■三田店/☎(079)559-2211代
- 中環東大阪店/☎(06)6783-2211代 ■神戸本店/☎(078)371-2211代
- 寝屋川本店/☎(072)829-2211代 ■新長田店/☎(078)621-2211代
- 枚方家具団地店/☎(072)836-2211代 ■明石店/☎(078)927-2211代
- 高槻店/☎(072)683-2211代 ■加古川店/☎(079)426-2211代
- 茨木店/☎(072)622-2211代 ■高砂店/☎(079)443-2211代
- 箕面店/☎(072)726-5522代 ■姫路本店/☎(079)282-2211代
- 豊中熊野店/☎(06)6853-2220代 ■崎店/☎(0790)22-2211代
- 豊中店/☎(06)6848-2211代 ■網干店/☎(079)272-2211代
- 川西店/☎(072)759-2201代 ■龍野店/☎(0791)62-2235代
- 北伊丹店/☎(072)780-5211代 ■赤穂店/☎(0791)45-2211代
- 伊丹店/☎(072)775-2211代 ■山崎店/☎(0790)62-5171代
- 東園田店/☎(06)4960-4000代 ■浜屋漆工芸館/☎(079)293-2211代

■本社/姫路市南畠町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お寺の広報を
サポートします!!

リーフレット、教化冊子などの
印刷物制作など気軽にご相談ください

弊誌制作チームが、印刷物の「デザイン」からお寺を魅せるノウハウを提供します。お寺の想いを地域社会にスムーズに伝えようとするとき、洗練された「デザイン」はきっとその助けになります。興味を持たれた方は一度、お問い合わせください。

お問い合わせ先 → フリースタイルな僧侶たち編集部
Tel : 075-555-5730 / Fax : 075-777-9579
E-mail : info@freemonk.net

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ 03-3436-6823

相談受付:毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

- 研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います
- 多彩なご相談に対応します
- 周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

- 秘密は必ず守ります
- 勧誘はしません
- 無料でお受けします

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ:<http://tomoiki.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索

フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン
VOL.30

2014年8月1日発行

総指揮
池口龍法

輪番編集(第30号)
池口龍法

デザイン
梅本龍青(NILOTPALA)

マンガ
光澤裕顕

ロゴデザイン
しらたきなべお

発行

フリースタイルな僧侶たち編集部
〒600-8119 京都府京都市下京区河原町通五条下る本塩竈町583-5
kawaramachi place 1002号室
TEL 075-555-5730
FAX 075-777-9579
E-MAIL info@freemonk.net

www.freemonk.net

表紙、P2 撮影:掛川マサ也(イエローストーン)

本誌記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。